刊行物

主教*
Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D. ‡
諸国民への主教、使徒的委任のもとに

> また言ひ給ふ「この故に、天國のことを教へられたる凡ての學者は、新しき物と舊き物とをその倉より出す家主のごとし」
>
> マタイ伝福音書13:52（文語訳）

目次

天国の学者　著作の番号の付け方　分類　著作の宛先　読み方　RSSによる購読
シリーズと巻　著作

天国の学者

主教 Garland F. Byers, Jr.は、教会の主教である。主教としての彼の召命は、会衆を牧することでも群れを養うことでもなく、また聖職者の通常の務めを果たすことでもない。それは、主がこの御言葉において語られた召命、すなわち天国の学者として仕えることである。

イエスの時代にも、またそれよりはるか以前にも、神の民の中には学者がいた。その務めは、神の言葉を文書として保存し、それを教えて、民が理解できるようにすることであった。エズラは「モーセの律法に精しき學士」であって（エズラ書7:6）、「心をこめてヱホバの律法を求め之を行ひてイスラエルの中に法度と例規とを教へたりき」（エズラ書7:10）と記されている人物である。律法が民の前で読まれたときには、「彼等その書に就て神の律法を朗

かに誦み且その意を解あかしてその誦ところを之に了らしむ」(ネヘミヤ記8:8)。主ご自身も、このような人々を遣わすと約束された。「この故に視よ、我なんぢらに預言者・智者・學者らを遣さん」(マタイ伝福音書23:34)。

天国のことを教えられた学者は、神の言葉という倉から新しいものと古いものとを取り出す。彼は信仰の古い真理を再び思い起こさせ、神の民の益のために新しいものを示す。彼は自らの力によってではなく聖霊によって書くのであり、この聖霊について主はこう言われた。「汝らに萬の事ををしへ、又すべて我が汝らに言ひしことを思ひ出さしむべし」(ヨハネ伝福音書14:26)。

ここに集められた著作は、その召命の実である。バイヤーズ主教は導かれるままに、時代と信徒が必要とするあらゆる事柄について書く。それは教えの一つの要点であることもあれば、苦難の時における一言であることも、また多くの部に分けて続けられる長大な研究であることもある。

著作の番号の付け方

各著作には、刊行の順に番号が付される。第1号、第2号、第3号というように続く。どのような性質の著作であれ、誰に宛てられた著作であれ、すべての著作はこの一つの通し番号によって番号が付される。番号は年をまたいで途切れることなく続き、振り直されることも再使用されることもない。各著作にはまた、その刊行日も記される。

番号はその著作の恒久的な参照記号である。それはどの言語でも、どの形態でも変わらないため、著作は常にその番号だけで引用することができる。著作が後に訂正された場合も、その番号はそのまま保たれ、元の日付の下に改訂日が示される。

分類

各著作は、その性質に従って分類される。一つの著作が複数の分類をもつこともある。

告知

悲劇や重大な出来事の際に記される短い言葉で、慰めと祈りを捧げるものであり、行動を呼びかけるものではない。

勧告

祈り、困窮する人々への援助、献金など、その時の必要に応えて何らかの具体的な務めを担うよう信徒に呼びかけるもの。降誕祭と復活祭のメッセージは勧告である。

警告の言葉

高まりつつある危険についての理にかなった警告で、信徒が目を覚まし、備えることができるようにするもの。

使徒的是正

誤った教理、あるいはそれを教える者の誤りを名指しして正す著作。

称賛の書簡

親切の行い、あるいは信仰の行いを認め、それに感謝する短い著作。

教理の要点

教理の一つの要点についての、短く平易な教え。

教理声明

教理上の事柄についての、より詳しく一貫した教えで、教理の要点よりも長いもの。

教理論文

教理上の事柄についての包括的かつ徹底した研究で、永続的な参考資料となることを意図したもの。

行政文書

教会の秩序と事柄に関する書簡その他の文書で、たとえば同僚の主教に宛てた書簡や、キリスト者の一致のための文書など。

著作の宛先

すべての著作は、地上の十の地域のいずれかにあるキリストの諸教会に宛てられるか、キリストのすべての教会に共に宛てられる。特定の人物に宛てられた著作、たとえば同僚の主教に宛てた書簡の場合には、その人物の名がその主題に記される。著作はまた、宛てられた教会ごとに、十の国のページにも掲載されている。

読み方

すべての著作は、このウェブサイト上で読むことができ、PDFとしてダウンロードすることもできる。翻訳が完成するにつれて、各著作はこのサイトの他の言語でも、同じ番号のもとで読めるようになる。

RSSによる購読

新しい刊行物はRSSで購読することができる。RSSとは、自分で選んだフィードリーダーのアプリを通じて、新しい著作が出るたびに通知を受け取ることのできる、無料で簡単な方法である。登録は不要であり、氏名、電子メールアドレス、その他の個人情報を求められることもない。この働きは、誰が購読しているかの記録を一切残さず、あなたが誰であるかを知る手段も持たない。

フィードは、新しい刊行物それぞれの題名と短い要約を、このウェブサイトで全文を読むためのリンクとともに提供する。このサイトのすべてのページと同様に、閲覧は匿名の合計としてのみ数えられる。たとえば、あるページが何回読まれたか、どの国から読まれたか、といったものである。クッキーは使用されておらず、読者を特定しうる情報は何も記録されない。

これは意図的なものである。場所によっては、キリスト教の著作を読むことがその人を危険にさらすことがある。RSSを用いれば、誰であれ、自分の氏名や住所を誰にも残すことなく、これらの刊行物を購読することができる。

日本語の刊行物のRSSフィード

シリーズと巻

単独で完結している著作もある。また、より長い研究に属し、信徒が全体の完成を待たずに読めるよう、各部が完成するごとに分けて刊行されるものもある。著作の数が増えるにつれて、それらはシリーズ別にもまとめられ、やがては巻として集成される。

著作

番号	宛先	主題	分類
著作は刊行され次第、番号順にここに掲載される。			



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：ウィキソース。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「……」で示しています。